

刑事施設で働く福祉職の抱える課題と地域連携促進について

現在、福祉専門官等の福祉職が、刑務所や拘置所といった刑事施設に收容されている者の社会復帰に向けた福祉的ニーズに応えるための取り組みを進めています。

刑事施設で行うソーシャルワークは司法領域という独自の土壌の中で行うことが前提とされるため、様々な課題があります。そこで、本委員会では、刑事施設で働く福祉職同士が、支援を行う上での課題や地域機関との連携方法等について語り合う場を設け、出された意見を本委員会が集約した上で、日本精神保健福祉士協会として必要な提言を行っていききたいと考えます。

本協会の非会員の方の参加も大歓迎ですので、是非皆様が日々感じている課題等をお聞かせください。

2023年3月18日（土）14：00～16：00

開催方法 Zoomによるリモート開催

参加資格 刑事施設で働く福祉専門官等の福祉職

参加費 無料

申込方法 <https://www.jamhsw.or.jp/a/2022keimusho-fukushi/>よりお申込みください

申込締切 2023年3月13日（月）

内 容

テーマ：刑事施設で働く福祉職の抱える課題と地域連携促進について

内 容：①開催趣旨の説明

刑事司法精神保健福祉委員会 委員長 山田真紀子

②話題提供

北九州医療刑務所 福祉専門官 合田舞香

③座談会《グループによる協議、発表》

④まとめ

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 前会長 柏木一恵



申込ウェブサイト

